



大塚教育

令和2年5月14日
文京区立大塚小学校
校長 田村 純子
3946-3421

感謝の気持ちを大切に

校長 田村 純子

保護者の皆様には、休校の期間、子供たちの体調管理・学習状況についてご配慮いただき、本当に感謝いたします。ありがとうございます。

臨時休校の延長が決定され、5月末まで、ご家庭での自宅学習が続きます。子供たちが、自分の生活・学習を振り返り、常に前向きに取り組むことができるような声掛けをお願いいたします。児童全員が、元気に登校できる日を待ち望んでおります。

休校中のある日曜日、穏やかな春らしい日に、母を連れて近くの公園に散歩に行きました。ハナミズキやツツジがきれいに咲いている光景は、例年見られる光景で、その瞬間は何とも言えない幸福感に包まれました。しかしその後、マスクを付けているたくさんの人々に行き交った時、急に現実の世界に引き戻されました。暖かな日差しを浴びて幸せに思うこの瞬間にも、世界中に新型コロナウイルスが拡がっていること、感染症と闘っている人がいることに。

休校中に配信した動画のメッセージでもお伝えしたように、子供たちにも、医療従事者や研究者に対する感謝の気持ちをもつことを教えていきたいと思います。自分の身を顧みず新型コロナウイルスを封じ込めようと努力してくださっている方々には、ただただ頭が下がるばかりです。誰もが感謝の気持ちを、実感したのではないのでしょうか。

また、命の大切さ、命の重さについても、今こそ子供たちに実感させるべきです。ゲームの世界と違って、失われた命が戻ってこないということ、一人一人の命がかけがえのないものであることを、学校でも道徳の時間を始め継続して取り上げてきたことですが、今一度しっかり子供たちに考えさせたいと思います。

また3月の修了式で子供たちに話したのですが、今まで普通にしてきたことが普通ではなくなってしまった時、今までの普通が幸せだったということに気付くことがあります。今までは、毎日学校に来て勉強することが当たり前だったけれど、それができなくなって初めて、学校で勉強することの楽しさや、有り難さに気付いた子供たちもいることと思います。

一日も早く感染症の収束を願うばかりですが、これからも想定外のことが起こる可能性はたくさんあります。子供たちは、今は保護者・地域の皆様に守られていますが、いずれいろいろなことに遭遇した時、自分の力で考え、判断していかなければなりません。「生きる力、生き抜く力」が必要なのです。それは、机上の学習だけでなく、想像力、創造力、プラス思考、前向きな姿勢、協調性、優しさ、思いやり等々です。子供たちに身に付けさせたい力を再確認し、学校が再開された時には、心新たに教育活動を展開してまいります。今後とも、ご支援・ご協力をお願いいたします。

4・5月に予定されていた学校行事は、中止・延期になりました。**1学期の運動会は、2学期に延期します。**

今後の予定については、決定次第、早めにお知らせいたします。

5月の生活目標

すすんであいさつをしよう

生活指導主任 石井 香

当たり前のことが当たり前にできない今の状況の中、お互いの行動や存在に感謝したり安心したりすることも多くあることと思います。日常の中でただ過ぎていくのではなく、改めて「ありがとう」「ごろうさま」「よろしくお願ひします」そんな言葉を掛け合うことで、より心が通い合うのではないのでしょうか。普段言っている「おはようございます」「さようなら」の中にも「今日もよろしく」「1日ありがとう」という思いを込めることで、お互いを大事に思う気持ちも深まり、自然に相手の顔や目を見て挨拶するようになることと思います。

今だからこそ、学校でも家庭でも、気持ちを込めた言葉を伝え合うことを大切にしていきたいものです。